

# A p r i r e

No.  
**84**  
WINTER  
2024.12

[特集1]

## 新学部開設・学部改組

[特集2]

## 医学部創立50周年 記念事業



## 03 学長からのメッセージ

### [特集1]

## 04 新学部開設・学部改組

2025年(令和7年)4月開設

・情報データ科学部

2025年(令和7年)4月改組

・総合環境理工学部

・学部からのメッセージ

### [特集2]

## 12 医学部創立50周年 記念事業のご紹介

## 16 キャンパス紹介

## 17 みらい創造基金だより

## 24 秋田大学みらい創造基金



### 〈今号の表紙〉

今号の表紙は、秋田大学手形キャンパス構内で国際資源学部の学生たちの協力のもと撮影しました。大学生活の中で出会う良い仲間との学びを通じて、未来へ向かって羽ばたく学生を、秋田大学は応援しています。

協力学生

国際資源学部 アリーナ・セルピナ  
国際資源学部 三春 凜佳

## キャンパスライフ

### — Scenes from campus life —

学生の日常の風景をおとどけします。

[手形キャンパス編]



# 学長からのメッセージ

## Message from the President



秋田大学長 南谷 佳弘

MINAMIYA YOSHIHIRO

秋田大学は、長い歴史の中で地域に深く根ざしながら、時代のニーズに応じた人材育成に力を注いできました。資源学をはじめとする独自の教育・研究分野では、数多くの成果を挙げ、国内外で優れた卒業生を輩出してきました。秋田大学で学び、成長した学生たちは、秋田県や日本国内のみならず、世界中でその力を発揮し、さまざまな分野で活躍しています。

現代社会は、複雑化しつつあり、デジタル技術の進展や環境問題、人口減少といった多くの課題に直面しています。このような時代だからこそ、柔軟な発想と深い専門知識を持った人材がますます求められています。本学は、こうした未来社会に対応できる力を育むため、学びの環境を常に進化させています。

2025年度には、新たに「情報データ科学部」を開設し、理工学部も改組します。これにより、AI（人工知能）、ビッグデータ、IoTなどの最先端技術に対応した教育を通じ、次世代のリーダーを育成します。これらの新たな学びの場は、未来を切り拓く大きな力となり、若い皆さんにとってはもちろん、地域や社会全体の発展にも大きく貢献するものとなるでしょう。各学部長からの詳細な説明もご確認いただき、ぜひご関心を持っていただければ幸いです。

また、本学の医学部は、2020年に創立50周年を迎えました。これまで秋田大学医学部は、地域医療の担い手として多くの優れた医療人を輩出し、秋田県内外の医療現場で活躍しています。地域に根ざした医療だけでなく、研究面でも国内外で高い評価を得ており、これからもその伝統を守りつつ、さらなる発展を目指してまいります。

秋田大学は、すべての方々が成長し、夢を実現できる環境を整えています。新しい学びの場で、自分自身の可能性を広げ、未来に向かって大きく飛躍してください。皆さんとともに、新しい時代を築いていけることを、心より楽しみにしています。

# 2025年(令和7年)4月開設 情報データ科学部

副学長・新学部設置準備室長 長縄 明大



## 情報データ科学部の教育研究内容

### 学部の概要

情報データ科学部は、秋田大学の5つ目の学部として2025年4月に開設します。本学部では、最新のデジタル技術を活用し、世の中にあふれる情報やデータから新たな価値を見出し実装することができる「デジタル人材」の育成や、社会課題を解決するために必要なデジタル技術の高度化とその活用に関する研究を行います。本学部の特徴は、人間情報や防災・エネルギー情報等の情報・データサイエンス分野のみならず、知能ロボティクス分野を内包しており、デジタル社会の構築に向けた教育研究を行う点にあります。

### 教育内容

本学部は「情報データ科学科」の1学科編成です。デジタル人材を養成する教育課程には、3つの学びの特色があり、「情報学・データサイエンス」を「専門」として身に付けることができます。

#### 学びの特色1) 情報学・データサイエンスの体系的な学び

高等学校で学んだ「情報I」とのつながりを持たせ、情報学・データサイエンスに関する知識や技能を基礎から身に付けるため、情報学・データサイエンスを体系的に学ぶことができる教育課程となっています。学生は、入学時からデジタルデータを扱う技術の基礎となる「コンピュータサイエンス系科目」及び「ネットワーク系科目」、人と情報技術の関わり等を扱う「人間情報学」のコアとなる科目、さらに、情報やデータから科学的・社会的に意義のある知見を引き出す学問である「データサイエンス系科目」を学びます。

#### 学びの特色2)アントレプレナーシップの養成

アントレプレナーシップとは、急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出す精神です。本学部では、この素養を身に付

けるため、基礎教育科目では、英語や数学に加えて、卒業後の社会に出てから必要になる「デジタル社会と企業経営基礎」、「e-ビジネス基礎」等の社会科学の基礎を学びます。また、教育課程における「デジタル社会PBL科目」では、社会で活用されているデジタル技術を学ぶ授業や実験等に加え、オープンデータや地元企業等における現場のデータ等をもとに、企業人材等と一緒に諸課題の解決に取組み、実践力を身に付ける課題解決型授業を設定しています。

#### 学びの特色3) 情報学・データサイエンスの応用分野の学び

情報学・データサイエンスを応用する分野として、人を中心とする情報技術に関する「人間情報系科目」、安心・安全な地域づくりにデータを活用する「防災・エネルギー情報系科目」に加え、人の日常生活支援の技術に関する「知能ロボティクス系科目」の3つの科目群を設定しています。

学生は、3年次進級時に自らの志向に合わせて応用分野の授業科目を選択履修し、4年次では3年次までに学んだ知識や技術を活用して新たな価値を実装する「卒業研究」を行います。





## 受験生の皆さんへ

### 文系・理系のそれぞれに応じた柔軟な入試制度

本学部の入試には、一般選抜(前期・後期)と特別入試(総合型選抜I・総合型選抜II)があります。データサイエンス系の学部をめざす文系の受験生も多くいるかと思しますので、本学部はそれに対応できる柔軟な入試制度を設計しました。

例えば、前期日程では、大学入学共通テストより個別学力検査の配点比率が高いのが特徴です。また、文系と理系で大学入学共通テストに課す科目数や、個別学力検査の出題範囲を変えていることもさることながら、理系の受験生が、文系寄りの試験方式を選択することも可能です。『理系だけど理科より社会が得意だ』、『数学のみが得意だけど国立の情報系学部に進みたい』というように、自分の個性や得意科目を活かして受験できる入試になっています。このため、大学入学共通テストがうまくいかなかった受験生にも、十分に逆転のチャンスが残されています。

なお、入試の詳細については、秋田大学のホームページでご確認ください。



### 情報データ科学部(入試情報)

### 教育方針

本学部は、情報学やデータサイエンスを学び、AIやビッグデータ、ロボット等のデジタル技術を活用する「基礎力を養う」ことに加え、地域企業等との連携や実際の社会課題を解決する実習を取り入れており、「実践力を磨く」機会を設定しています。これは、単に知識の習得に留まらず、現実の社会課題に対し、どのようなデジタル技術を駆使し、どのように解決策を見出すのかという素養を養うためのものです。また、実験実習等では少人数のグループ化も取り入れ、経験豊富な教職員や先輩学生(ティーチングアシスタント)等のきめ細やかな指導体制により、一人ひとりが学びの理解を深められるとともに、社会に出てから必要になる「コミュニケーション力の向上」にもつながります。

秋田という自然豊かで落ち着いた環境で学ぶことは、「生涯の宝物」になるでしょう。

### メッセージ

秋田大学は、地域社会に根ざしながらも、グローバルな視点を持つことができる教育環境を提供します。本学部では、データサイエンス、AI、ビッグデータ解析等、これからの社会で必要になるデジタル技術を専門として学ぶことができます。こうした知識やスキルを身に付け、デジタル社会と一緒に構築していきましょう。



2025年(令和7年)4月改組

# 総合環境理工学部

理工学部長 寺境 光俊



## 理工学部から総合環境理工学部へ

### 受験生の皆さんへ

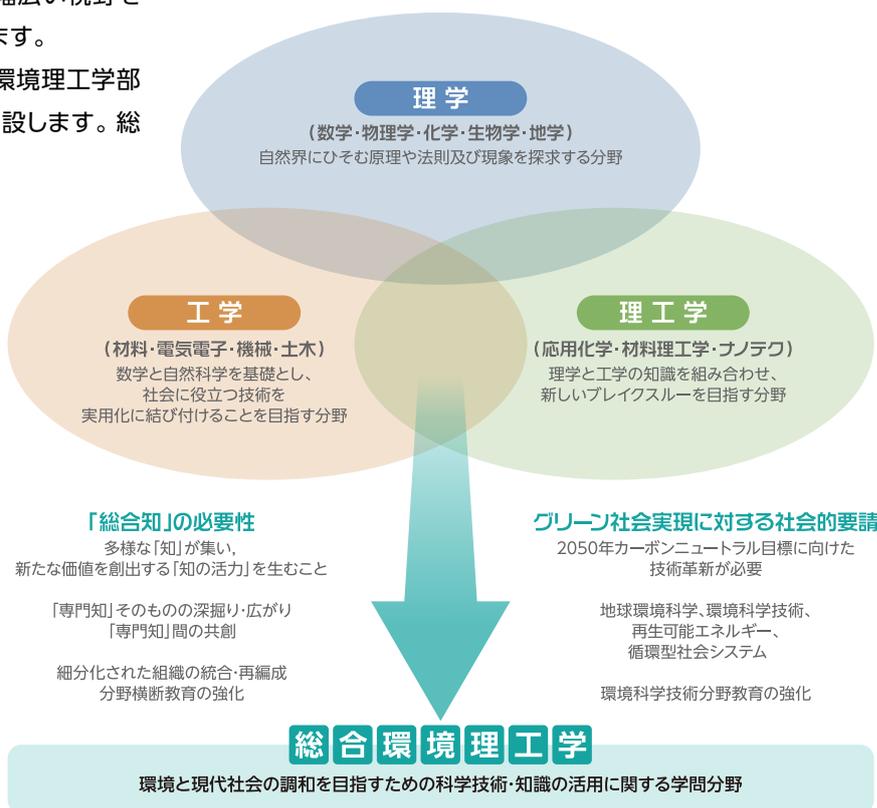
近年、人類の活動によって引き起こされる温室効果ガスの増加による地球温暖化が、世界的に深刻な課題となっています。日本政府も2050年にカーボンニュートラルを実現するという目標を掲げました。様々な分野における技術革新が必要です。さらに、現代社会における様々な課題を解決するには、高度な専門性をもつ人材が共創して課題解決に当たる総合知の活用が必要とされてきました。高度な専門性ととも幅広い視野を身に付け、他者と共創できる人材が求められています。

秋田大学は令和7年4月から、理工学部を総合環境理工学部へ改組するとともに新たに情報データ科学部を開設します。総合環境理工学部は、これまでの理学、工学、理工学に加え、総合知活用に必要な分野横断教育と環境科学技術分野を強化して、環境と現代社会の調和を目指すための科学技術・知識の活用を推進する「総合環境理工学」を推進する学部です。従来の4学科8コースを応用化学生物学科、環境数物科学科、社会システム工学科の3学科に再編成します。科学技術の基礎と応用に加え、グリーン社会実現に向けた教育と分野横断教育を強化し、現代社会で活躍できる人材を養成します。

総合環境理工学部の入試では、総合型選抜と一般選抜を行います。総合型選抜では共通テストを課さない入試として、総合型選抜I、学校推薦型選抜I(女子枠)、私費外

国人留学生入試を実施し、多様な能力と個性を有する学生を受け入れることが特徴です。

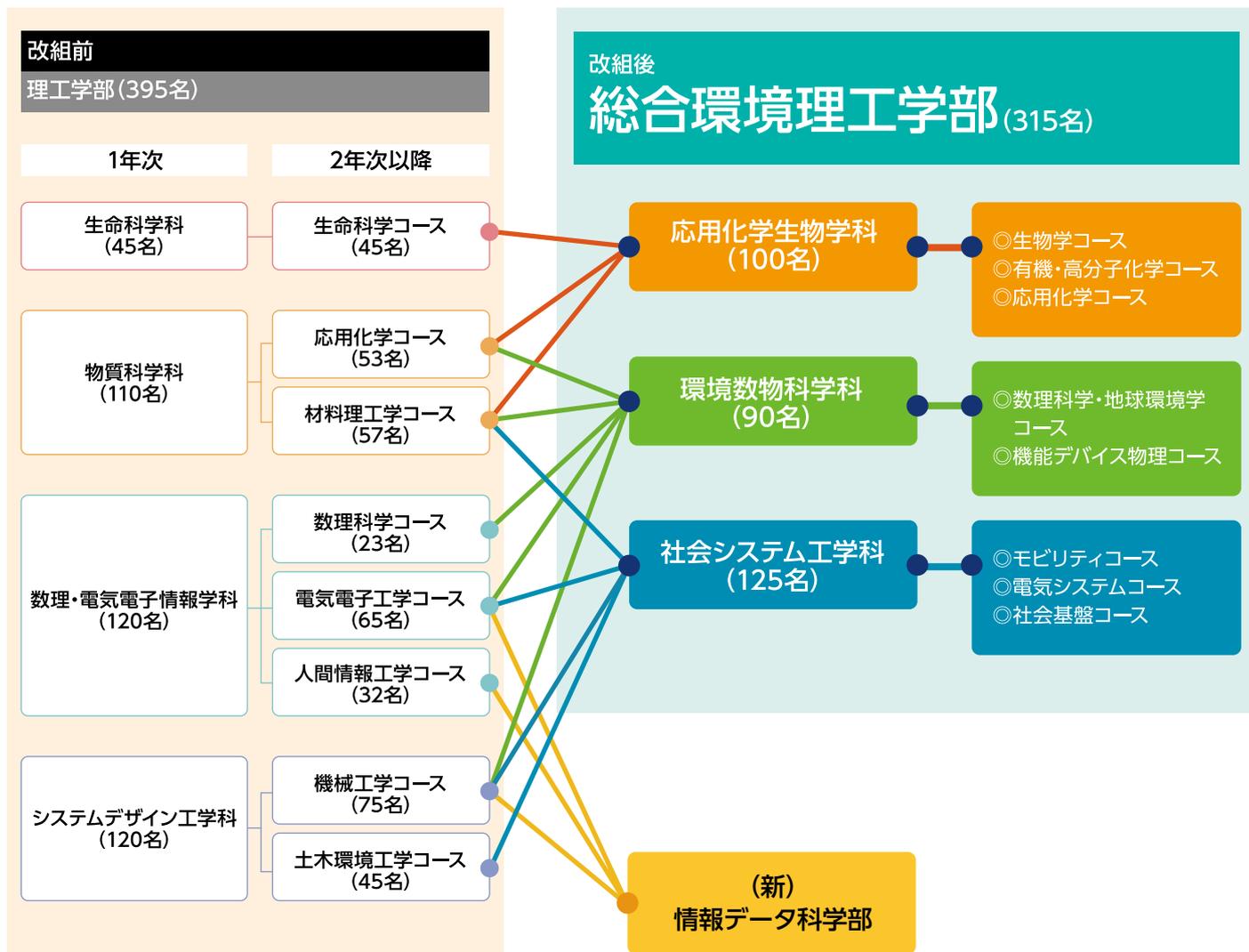
環境に優しい現代生活を「我慢せずに」実現するためには科学技術の進歩が不可欠です。総合環境理工学部では環境と両立した現代社会実現に向けて活躍できる人材を養成します。



## 総合環境理工学部の概要

総合環境理工学部では4学科8コースで学生総定員395名/1学年であった理工学部から、応用化学生物学科(100名)、環境数物科学科(90名)、社会システム工学科(125名)の3学科に再編成し、学生総定員315名の学部になります。応用化学生物学科は化学と生物学の総合力をもつ人材育成と、先端のバイオテクノロジーや緻密な有機合成技術、及び、高度な応用化学技術により、人間の健康と環境調和社会の実現に貢献できる人材を養成します。化学と生物学の2つの専門分野の連携を強化し、先進的技術を共創する研究体制により教育を行います。環境数物科学科は、気候変動などを地学・数学の知識を用いてモデル化する

能力を持つ人材育成、半導体・情報通信関連機器の環境負荷低減に取り組む能力を備え、環境問題などの社会の諸課題の解決に貢献できる人材を養成します。数理科学、地球化学、材料物性学、エレクトロニクス等の諸分野を連携させ、環境科学に学際的にアプローチする研究体制を通じた教育を実施します。社会システム工学科は実学を尊重した人材育成と、社会から要請される先進的な技術開発により持続可能な地球環境と社会システムの構築に貢献できる人材を養成します。従来の専門分野を融合し、分野間連携を強化して先進的な技術開発を推進する研究体制により教育を実施します。



## 総合環境理工学部 教育課程の編成

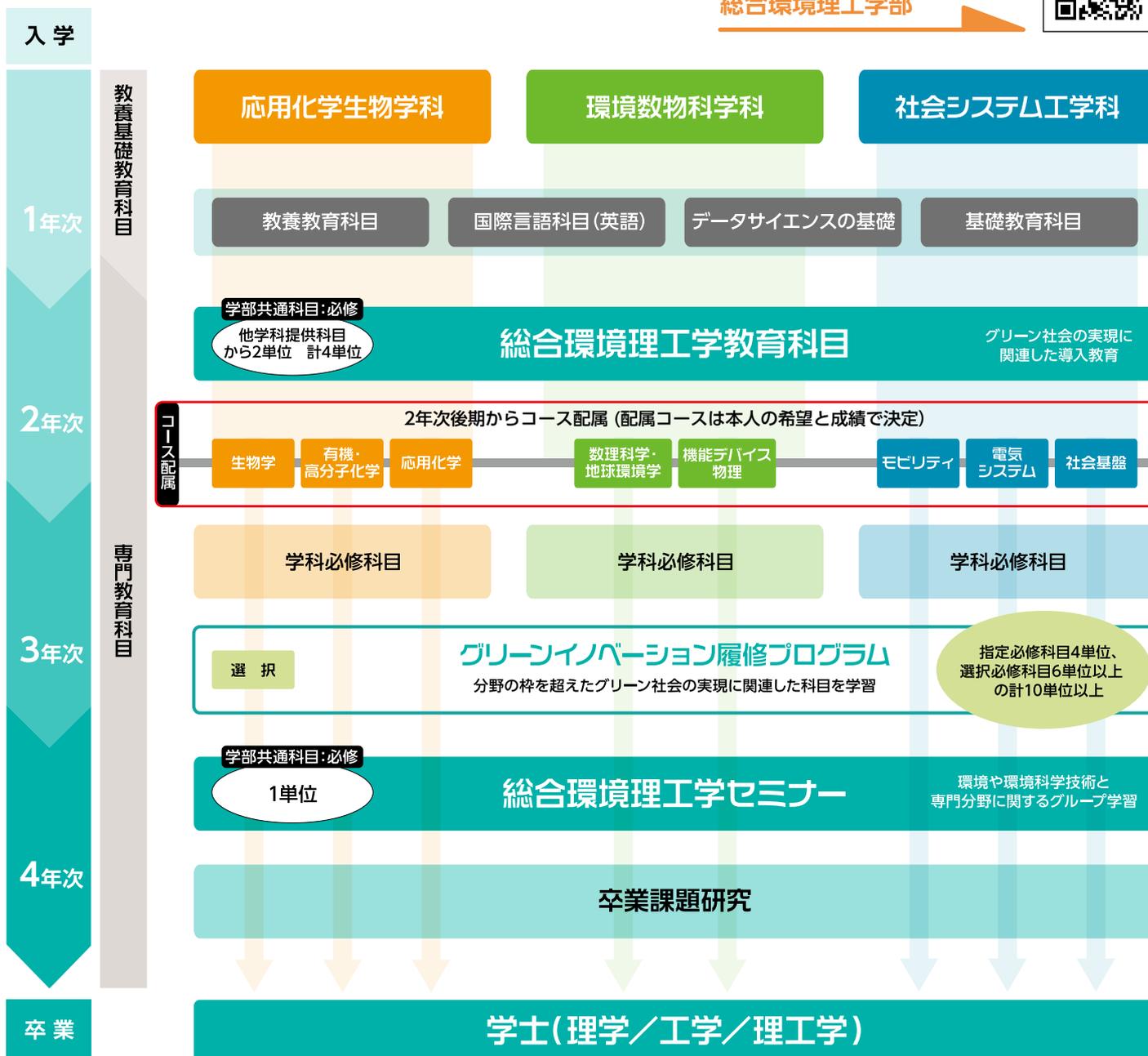
入学した学生は1年次に教養基礎科目、英語科目、データサイエンスの基礎、さらには基礎教育科目(数学、物理、化学など)を学びます。2年次後期からコース配属(応用化学生物学科:生物学、有機・高分子化学、応用化学;環境数物科学科:数理科学・地球環境学、機能デバイス物理;社会システム工学科:モビリティ、電気システム、社会基盤)を行い、高い専門性に関する科目を少人数で学習し、4年次の卒業課題研究につなげていきます。グリーン社会実現に向けた教育の強化として、グリーン社会実現に関連した導入教育である「総合環境理工学教育科目」と専門科目を学んだあとに自身の専門性と環境や環境科学技術との関わりを学習する「総合環境理工学セミナー」を必修科目として設置

します。様々なグリーンイノベーションに関する科目を全学生が選択できる選択科目として用意し、一定の条件を満たした学生にはグリーンイノベーション履修プログラムの履修証明を与えます。また、学科内に学科必修科目を設置し、所属学科内にて複数分野を学習させ、専門性に関連した幅広い視野を身に付けることができるカリキュラムにします。また、高い専門性と広い視野を身に付けるためには大学院(修士課程)までの6年一貫教育が必要と考えており、大学院への進学を推奨しています。

このように、総合環境理工学部では科学技術を基盤としつつ「グリーン人材」養成を強化した学部の改組を行い、現代社会で活躍できる人材を輩出していきます。



### 総合環境理工学部



# 学部からのメッセージ



## 国際資源学部

国際資源学部長  
柴山 敦

秋田大学国際資源学部はエネルギー資源や鉱物資源に関する教育研究を行っています。地球にある資源を探し、効率的に生産・利用する技術や環境保全、リサイクル、さらに社会科学の観点から資源問題に関する研究に取り組んでいます。国際資源学部の最大の特徴は、資源学に特化した文理融合教育を実践しているところです。さらに英語教育にも力を入れ、専門教育は原則、英語で行っています。また、3年生になると「海外資源フィールドワーク」を経験します。これらの特色を有する国際資源学部は2014年4月に新設され、2024年4月に丸10年を迎えました。

さて、2025年4月には、秋田大学の新しい学部組織として「情報データ科学部」と「総合環境理工学部」が誕生します。この

2つの学部と国際資源学部は研究面を中心に密接な関係があることをご存知でしょうか。例えば、資源学の世界でも情報工学やAI、深層学習などを取り入れた研究が始まり、「資源情報学」という分野に注目が集まっています。また、総合環境理工学部が目指すグリーン社会や持続可能な社会を実現するためにも理工学と資源学の融合は重要です。両学部とは横断的な関係を築くことが必要になるでしょうし、私自身、2つの学部の誕生に大いに期待しています。

国際情勢の変化もあり、資源を取り巻く環境は大きく変わりました。秋田大学の学部組織として、次世代の資源学を担う役割をしっかりと果たして参ります。これからもよろしくお願い申し上げます。



## 教育文化学部

教育文化学部長  
大橋 純一

教育文化学部は、秋田伝習学校(1873年創設)にルーツを持つ伝統ある学部であり、現在は学校教育課程と地域文化学科の1課程・1学科で構成されています。

学校教育課程では、次世代を担う子どもたちの成長を支えるべく、豊かな人間性と優れた指導力を兼ね備えた教員を育成しています。また実習機関となる附属学校園のほかに、教職大学院と教職実践センターがあり、教育現場と連携した高度な教育を展開しています。

地域文化学科では、県内の自治体や企業などと連携した活動が多くあり、地域課題を発見し、解決策を考え、実践できる人材を育成しています。また公認心理師の資格に対応した心理実践コースがあり、地域の人々に寄り添う心の専門家を育成しています。

本学部は、これまで多くの優れた人材を輩出してきましたが、次年度に向けてより充実した学びの環境を整えるために、一部の改編を行います。

その趣旨は、学部が培ってきた特質はそのままに、教育体制を一体化することで、いっそう高い資質を備えた人材を養成しようとするものです。

学校教育課程では、これまで校種や教科の枠組みを軸に5コース体制だったものを、初等中等教育・特別支援教育・こども発達の3コースに再編し、教員養成の一体性を高めながら、ICT教育、情報倫理教育など、これからの時代の学校教育にも対応します。

地域文化学科では、現行の3コース(地域社会・国際文化・心理実践)に変更はありませんが、コースの枠をこえた共通科目群を創設するとともに、学科の基幹となるコアカリキュラムを再編し、地域でさらに力を発揮することのできる人材育成に注力します。

教育文化学部は、これからも時代の要請に対応しつつ、地域社会に貢献する人材の育成に努めます。新しいスタートを切る本学部に、ぜひご期待ください。



## 医学部医学科

医学部長  
羽 淵 友 則

秋田大学医学部は1970年に設置されました。翌年には秋田県立中央病院を移管し、秋田大学医学部附属病院がスタートしました。当時は秋田県に医学部がなく、立ち遅れ気味の秋田県の医療をなんとかしたいという、県民の総意によって作られたと聞いています。ですので秋田県をはじめとする地域の医療に貢献することで皆さまの信頼を得て参りました。現在も秋田大学医学部・大学院医学系研究科と附属病院は、高度で先進的な医療や世界最先端の研究とともに、秋田県の医療や県民の健康を守るという重要な役割を果たしていると自負しております。

さて、今年のノーベル賞の物理学賞はAIの礎となる「機械学習」に関する研究者に、化学賞はアミノ酸配列からタンパク質構造を予測できるAIモデルの考案者に授与されました。自然科学分野の2つの賞がこのようにDX、AIやデータサイエンスに授与されたことは今後の医学・生命科学の方向性を占う意味で大変重要な出来事だと思います。秋田大学でも2025年4月から新たに情報データ科学部が始動します。医学部・医学系研究科、附属病院としましても是非、新学部とも共同しながら、新たな研究、診療、そして教育を開拓したいと

思っております。もともと秋田大学医学部は理工の融合研究を得意としています。データサイエンス、AI、DXを含めて益々理工研究やプロジェクトを活性化していきます。

日本は未曾有の少子高齢化社会に突入り、医療や介護は大きな変革の時代に入っています。秋田県はこの少子高齢化社会の世界最先端を進んでいます。そんな中、私たち秋田大学医学部が秋田県の方々との問題に取り組み、問題解決への秋田モデルを示し、日本や世界がこの秋田モデルを模範とすることが理想です。

秋田大学医学部では教育部門でも1年生からの早期の臨床体験学習を始め、日本でもトップレベルの客観的臨床能力への教育体制、そして国立大学医学部でもトップの国家試験合格率、充実した専門医研修システムなど、卒前卒後と一貫したハイレベルの医学・医師教育を実践しています。秋田大学医学部において専門的知識と技術を習得することはもちろんですが、豊かな人間性を育み、学生生活を通じて多くの友や師、人々と出会い、経験を積み、学生の皆さんが心豊かな医療人として大きく育つことを願っています。



## 医学部保健学科

保健学科長  
安 藤 秀 明

保健学科は、看護・理学・作業分野において、医療サポートのみならず、研究データをもとにした健康にかかわる先端的介入を行っています。本学看護実習では、県内唯一の特定機能病院である秋田大学医学部附属病院で最先端医療に関わる経験から多くの教育を行っています。当院で実習が行えるのは本学のみであり、強みでもあります。また、附属病院には診療看護師や特定行為研修修了看護師、専門看護師、認定看護師も多く在籍しております。卒後さらに、広い視点で学ぶため、学生の約20%が海外交流として世界中で保健医療を視察や実習体験しています。

卒業研究や大学院研究では、科学的根拠

に基づいたヒトへの支援を行うために、負荷試験・環境の異なる状況などに対する身体情報反応分析や医療・福祉・健康増進に関わる社会システムを分析してよりよい看護・理学・作業を研究しています。これまでも、医学科や理工学部と連携して行っておりましたが、新学部である「情報データ科学部」と連携することにより、人間情報関連分析やデータサイエンスによるAI活用、さらに、現在、先進ヘルスケア工学院と連携しているロボティクスに関わる研究を創造してゆけることを期待しています。秋田は社会課題の多い地域なので、地域生活課題解決のため保健学科は、その成果を地域に還元して情報発進に務めています。



# 医学部創立50周年 記念事業のご紹介



秋田大学医学部  
創立50周年記念会 会長  
**小泉 ひろみ**  
(秋田県医師会 会長)

秋田大学医学部創立50周年記念会会長を拝命しております秋田県医師会の小泉ひろみと申します。さて、秋田大学医学部は、戦後初めて設置された国立大学医学部として、1970年4月1日に創設されました。爾来50年の年月が経過し、2020年4月に創立50周年を迎えました。

2004年の国立大学法人化以後、大学行政や地域医療を取り巻く環境が厳しさを増す中で、大学及び医学部の社会で果たすべき役割が厳しく問われるようになってきました。秋田大学医学部のこれまでの医学教育、医学や生命科学、医療活動での実績に安住することなく、厳しい環境の中で今後の一層の飛躍と発展に向けて、さらなる努力を求められることとなります。これからも「地域に根ざしつつ、世界に飛躍、発展する

医学部」として、内外における秋田大学医学部の地位をゆるぎないものにするため、この創立50周年記念事業をひとつの契機としたいと考えております。

コロナ禍で実施を自粛し2024年に再開することとなった50周年記念事業においては、秋田大学医学部の一層の発展に向けて、「学生&職員ウェルビーイング施設」の建設事業、国際交流事業、「秋田大学医学部50年史」発行、記念式典・記念講演会等を主要事業とする記念募金(5億円)を行うことを計画しました。

何卒、ご趣旨をご理解いただいた上、本事業の達成に皆様の多大なご協力を賜りたく、衷心よりお願い申し上げます。



秋田大学  
大学院医学系研究科長・  
秋田大学医学部長  
**羽 瀧 友 則**

秋田大学医学部は戦後初めて設置された国立大学医学部として1970年4月に創立され、2020年に創立50周年の節目の年を迎えました。その直後に新型コロナウイルス感染が蔓延したため記念事業の開催を延期しておりましたが、法制上の緩和を受け、創立55年を迎える2025年に創立50周年記念事業を執り行うことになりました。

本創立50周年記念事業は、新しい時代に即応した在校生及び同窓生の教育・研究の活性化、及び大学院医学系研究科・医学部教育・研究環境の更なる整備を図ることを目的とし、以下の4つの事業を行います。

## 1) 「学生&職員ウェルビーイング施設」事業

学生、若い研究者、職員は朝早くから夜遅くまで、勉学や研究、医療活動、社会貢献等を行っていますが、昼夜を問わずリラックスして勉学や研究活動を行う場所が確保されていません。またWEBやクラウド上での情報交換や研究が進む中、従来型の図書館のような活動場所は医学部や医学系研究科にはそくいません。医学部臨床研究棟の北側に学生や職員のためのリラックスできる活動場所やプレスリリースなどの報道・WEB会議室など

の充実した3階建ての施設建設と整備を進めます。

## 2) 医学部医学科・保健学科国際交流事業

海外の大学との連携を強化し、学生や研究者の国際的な交流を促進します。

## 3) 「秋田大学医学部50年史」発行

医学部の歴史を詳細に記録した記念誌を発行します。

## 4) 記念式典・記念講演会

2025年10月4日(土)、“あきた芸術劇場ミルハス”の大ホールにて医学部の歴史を振り返り、今後の展望を語る記念式典を開催します。また著名な研究者を招き、最新の医学に関する記念講演会を実施します。

★記念募金につきましては：本記念事業は、皆様のご支援なくしては成功できません。記念事業へのご参加、ご寄附を心よりお待ちしております。記念事業の円滑な実施のため、広く社会からのご寄附を募ります。

以上、秋田大学医学部創立50周年事業を簡単に紹介させていただきましたが、ご寄附を含めまして、皆様のご支援、応援をいただけますと幸いです。



秋田大学  
医学部附属病院長  
**渡邊 博之**

秋田大学医学部創立50周年記念事業は、これまでコロナ禍のため延期を余儀なくされておりましたが、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いた今、皆様と共に祝えることを嬉しく思います。

当院は、1970年の秋田大学医学部創設の翌年に、秋田県立中央病院の国への移管という形で、戦後初めて開設される国立大学医学部附属病院として誕生しました。設立以来、「良質・高度かつ安全な医療の提供」「優れた医療人育成」「先進的医療の開発と推進」「地域医療の中核」「医療を通じた国際貢献」を掲げ、多くの患者様に安心と信頼を届けるため、努力を重ねてまいりました。50年という歳月の中で、数多くの挑戦と進化を遂げ、現在では秋田の地域医療を支える重要な役割を果たしていると自負しています。また、地域の

医療機関や行政機関との連携を深めることで、より良い医療サービスを提供し、地域社会の健康維持・増進に貢献していることを、私たちの誇りとしています。今後も、医療技術の進歩や患者様のニーズに対応し続けるために、教育・研究・診療活動をさらに強化し、次世代の医療従事者を育成していく所存です。

最後に、この50周年を迎えることができたのは、何よりも日々患者様と向き合い、尽力してくださった職員の皆様、また、地域住民の皆様、そしてご支援をくださった方々のおかげであると深く感謝申し上げます。秋田大学医学部附属病院はこれからも、医療の最前線で地域の健康を守り続けるため、全力を尽くしてまいります。皆様と共に、次の50年をさらに輝かしいものにできるよう努めてまいりたいと願っています。



秋田大学  
大学院医学系研究科  
保健学専攻長・  
保健学科長  
**安藤 秀明**

保健学科は、昭和33年秋田県立高等看護学院から創設され、昭和47年に秋田大学医学部に移管。秋田大学医学部附属看護学校を経て、平成2年に秋田大学医療技術短期大学として、看護学科に加えて理学療法学科、作業療法学科を設置、これを契機に校舎改修・増築工事が行われました。大学として改組し、第1期生の入学が平成15年でした。教育機関としては、66年の歴史で、大学としては21年になります。そして、今年3年間の改修工事が終了して、歴史ある校舎が未来の社会を支える校舎に改修されました。講義室、演習室はなるべく柱や壁を撤去して広い空間になり、共有スペースを多く配置し、DX機器も多数導入しました。さらに、これからの医療・福祉に対応するため、多職種連携実習室には居住スペースを再現し、

玄関から和室、キッチン、バス、洗濯スペースを構成し、在宅利用者への関わりを多職種で学ぶ空間を設置しました。さらに、グループワークを行うためのアクティブラーニング室も広く設置し、電子黒板による遠隔連携授業システムも準備しました。

保健学科は、新しい社会に対応する施設として改修しました。しかし、医療・科学技術の進歩はめざましく常に進化が必要です。また、現在は3専攻で学べるスペースを構築しましたが、今後は医学科等との連携のため、共有スペースが必要です。50周年記念事業では、医学部として学生・職員等が集えるスペースの整備を計画しています。学生時代から多職種で連携できる学びの場を醸成するために、ぜひ50周年記念事業にご協力をお願いいたします。

〈秋田大学医学部創立50周年事業公式サイト〉 <https://www.med.akita-u.ac.jp/50th/>

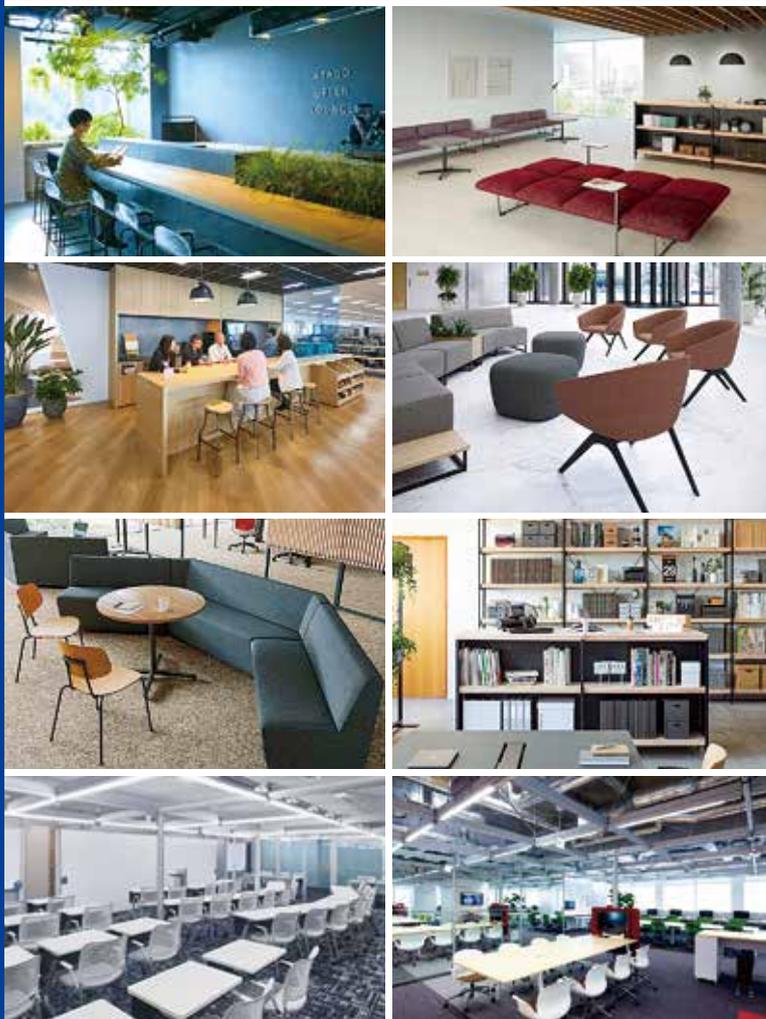
秋田大学 医学部 50周年

検索

# 秋田大学医学部50周年記念事業 学生&職員ウェルビーイング施設 完成予想図



学生や教職員がいつでも入れて、休み、勉強し、語り合い、グローバルな会議やプレス対応にも使える憩いの場を創造します。



## 主な記念事業

### 1. 学生&職員ウェルビーイング施設事業



### 2. 医学部医学科・保健学科国際交流事業

- 1) 医学科・保健学科の学生・研究者・職員の海外派遣時の助成など
- 2) 外国人留学生・研究者への助成
- 3) その他、研究・教育にかかわる国際交流事業への助成



3. 秋田大学医学部50年史発行
4. 記念式典・記念講演会の開催
5. その他医学部創立50周年記念に関する必要な事業

下記金額以上の  
寄附をいただいた方は  
学生&職員ウェルビーイング施設内の  
銘板にご芳名を掲示します。

謝意<銘板の掲示>	個人	法人・団体
● ブロンズスポンサー	10万円	50万円
● シルバースポンサー	30万円	100万円
● ゴールドスポンサー	50万円	200万円
● プラチナスポンサー	100万円	500万円
【個人】10万円以上		【法人・団体】50万円以上

# 「秋田大学医学部創立50周年記念募金」 寄附のお申込み・払込方法

募金目標額	5億円
募金期間	令和6年8月1日から令和7年7月31日まで

## 寄附の手続き

「寄附金払込(振込)用紙」(\*)をご利用の上、郵便振替または銀行振込により、下記の口座へお払込(振込)をお願いします。下記の金融機関からのお払込(振込)手数料は記念会で負担しますので不要です。\*寄附金払込(振込)用紙の郵送を希望される場合は、事務局までご連絡ください。

### 郵便振替の場合

加入口座名 秋田大学医学部創立50周年記念会  
口座番号 02230-3-144455

### 銀行振込の場合

加入口座名 秋田大学医学部創立50周年記念会  
口座番号 【秋田銀行】137-1089601  
【北都銀行】126-8159480

※上記以外の金融機関からのお払込(振込)の場合は、お払込(振込)手数料がかかります。

## インターネットによる振込も可能です。

各種クレジット・コンビニ決済・Pay-easyに対応しています。

詳しくは右記QRコードから医学部創立50周年記念会ホームページをご覧ください。



## 寄附金に対する免税措置

この寄附金は、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金(所得税法第78条第2項第2号)及び法人税法上の全額損金算入を認められる指定寄附金(法人税法第37条第4項第2号)として財務大臣から指定されております。振込等が確認された後、本会から領収書をお送りしますので、減免税の手続きを行う際にご利用ください。

| お申込み・お問い合わせ先 |

## 秋田大学医学部創立50周年記念会事務局

〒010-8543 秋田市手形本道一丁目1番1号 秋田大学医学部内  
TEL 018-884-6006 E-mail aniv50@jimu.akita-u.ac.jp

# 秋田大学 キャンパス紹介

秋田大学は手形、本道、保戸野の  
3つのキャンパスを有しています。  
今回は本道キャンパスを紹介します。

## CAMPUS GUIDE

本道キャンパスは、JR秋田駅からバスで約20分「大学病院前」下車の便利な立地にあります。キャンパス内は、医学部と附属病院が隣接しており、教育研究と地域医療の両方に貢献しています。附属病院は最新の医療機器を備え、高度な医療を提供するだけでなく、医療人の育成や医学研究の進歩にも積極的に取り組んでいます。医学部は医学科と保健学科の2学科から構成されており、それぞれ医師や看護師、保健師などを育成し、地域社会に貢献することを目指しています。



# 秋田大学 みらい創造基金だより

これまでの秋田大学みらい創造基金へのご寄附活用状況や、ご支援を受けた学生からのメッセージなどを紹介いたします。



【ご支援をいただきました皆様へ】

未来を創造する  
人材育成への  
あたたかいご支援に  
感謝申し上げます。

秋田大学長 南谷 佳弘

平素より、秋田大学の教育・研究活動に対し、多大なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。皆様からのご支援は、学生たちが将来に向けた学びを深め、地域や国際社会に貢献できる人材として成長するための大きな力となっています。

さて、近年の国立大学を取り巻く財政状況は非常に厳しく、国からの運営費交付金の削減が続く中、大学の自主財源の確保が喫緊の課題となっております。特に地方の国立大学である本学においては、地域社会と連携しながらその役割を果たしていくためには、従来以上に皆様のご支援が必要不可欠な状況となっております。

秋田大学は、地域の医療を支える医療人材の育成や、資源・環境問題に対する研究を通じて、地域と世界の課題解決に貢献してまいりました。さらに、

近年はAIやビッグデータなどの先端技術を活用した新たな教育プログラムを推進し、次世代を担う人材の育成にも力を注いでおります。

しかしながら、これらの取り組みをさらに充実させ、学生たちがより良い学習環境で学び、個々の可能性を最大限に発揮できるようにするためには、皆様からのご支援が不可欠です。教育環境の充実、研究活動の支援、学生生活のサポートに対する資金は、未来を担う学生への「投資」となり、彼らが地域社会や国際社会で活躍するための基盤となります。

秋田大学は、未来を創造する人材の育成に全力を尽くしてまいります。そのためには、引き続き皆様からの温かいご支援が必要です。今後とも、本学の教育・研究活動へのご理解とご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

## これまでのご寄附累計

(令和6年9月30日現在)

ご寄附件数..... **4,016件**

ご寄附総額..... **403,342,381円**

### ご寄附活用状況について

秋田大学みらい創造基金は、大学全体の活動を広く支援する「一般基金」と、用途を特定して支援する「特定基金」で構成しております。「一般基金」では、経済的に困窮している学生への支援、成績優秀者の表彰、留学生や留学を希望する学生へのサポート、低価格での定食の提供など、幅広く支援を行っております。「特定基金」では、医学部の修学環境の整備、病院の利便性向上など、要望に沿った支援を行っております。

このような支援が続けられるのは、地域の皆様、企業の皆様、本学の卒業生の方々や在学生の保護者の方々など、本学を応援して下さっている多くの皆様からの温かいご支援によるものであり、厚く御礼申し上げます。また、一時的な経済支援にとどまらず学生の卒業まで継続的に支援していくため、今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 令和5年度のご寄附

(令和5年4月1日～令和6年3月31日まで)

ご寄附件数..... **356件**

ご寄附額..... **40,390,891円**

### 令和5年度に行った各種事業を紹介します

#### 附属幼稚園の遊具更新【附属学校園寄附金】

教育文化学部附属幼稚園の園児が使用している木製大型遊具を老朽化のため撤去し、令和5年度新たに設置しました。更新した遊具を使って、園児たちが元気に遊んでいます。





# 令和5年度に行った各種事業を紹介します

## 新入生育英奨学資金【一般基金】

❖平成26年度に解散した財団法人土崎感恩講より経済的困窮学生支援の目的でいただいた寄附金を財源として、平成30年度から新たに、学部新入生を対象とした秋田大学独自の給付型奨学金制度「新入生育英奨学資金」を設立しました。給付額は1人10万円(入学科免除許可者については5万円)となります。(受給学生からのメッセージは21ページへ掲載しております。)

給付 状況	●令和3年度	16名
	●令和4年度	13名
	●令和5年度	8名

## 秋田大学学生支援金(給付型) 【修学支援事業寄附金】

❖新型コロナウイルス感染症の影響で、本人や保護者の収入(仕送り、アルバイト等)が減少し、学業及び生活に支障を来している学生に、1人3万円を返済不要の給付型奨学金として給付する制度です。

給付 状況	令和 3年度	●第1回(令和3年7月)	74名
		●第2回(令和4年2月)	82名
	令和 4年度	●第1回(令和4年8月)	49名
		●第2回(令和5年2月)	100名
	令和 5年度	●第1回(令和6年1月)	66名

## 学業奨励金表彰【一般基金】

❖みらい創造基金による学生の修学支援として、成績優秀者を表彰し、学業奨励金(10万円/1名)の給付を行っています。対象となるのは卒業年次を除く学部学生15名で、学業成績が優秀かつ人物優秀と認められる学生を各学部長が推薦し、学生支援総合センターにおいて被表彰者を決定しています。

(受給学生からのメッセージは22~23ページへ掲載しております。)



## 学生の海外派遣支援【一般基金】

❖秋田大学と国際交流協定を締結する海外の大学へ留学する本学交換留学生の中で、特に国際的な視野を持ち、優れたコミュニケーション能力・異文化理解力を備えた国際人となることが期待される学生を対象に、留学の際の国際線の航空運賃の一部や、特に学業成績が優秀な場合は航空運賃の全部および留学中の滞在費を支援しています。

## 外国人留学生の支援【一般基金】

❖秋田大学で学ぶ留学生の支援として、日本語教育教材の整備や、留学生が加入する住宅保証保険加入料の一部補助、留学生と日本人学生の交流スペース「多文化交流ラウンジ」の書籍等の購入などを行っています。



## 附属病院の環境整備【病院寄附金】

- ❖附属病院を利用する患者様とご家族の皆様が快適に過ごせるよう、待合用ロビーチェアや車椅子など、老朽化したものを新しくしたほか、これまで設置していなかった箇所にも設置しました。
- ❖患者様や来院者向けに、院内へ大型ディスプレイを設置しアート作品等の映像を流すことで、院内の雰囲気をもり明るくし、待ち時間の苦痛や緊張感の緩和につなげています。



## 令和5年度に行った各種事業を紹介します

### 医学部の備品購入【医学部寄附金】

❖ 本道キャンパスの医学図書館横には、昭和56年11月に山形市の篠田病院から本学へ移植されたプラタナス(ヒポクラテスの樹)があります。移植の経緯やこの樹について紹介する看板が老朽化し撤去していたため、令和5年度に立て直しました。



❖ 本道キャンパスの学生更衣室に設置しているロッカーが不足していたため、2台更新しました。学生間の学習環境格差を埋めるとともに、教育環境の整備を行っています。



### 学生に対する「食」の支援【一般基金】

❖ 手形食堂・本道食堂において、学生に対して手形食堂では1日あたり150食限定、本道食堂では50食限定で通常463円相当の定食を100円で提供しました。令和4年度後期から毎週実施したことを受けて、令和5年度も引き続き毎週実施しました。

### ウクライナ学生・研究者の受入支援【一般基金・修学支援事業寄附金】

❖ ロシアによるウクライナへの武力侵攻により、修学や研究活動を継続することが困難となった学生及び研究者を一時的に秋田大学へ受け入れ、修学や研究の機会を提供しております。住居支援や生活支援金の支給などを行い、安心して修学や研究活動に取り組むことができるようサポートしています。



### ホームカミングデーの開催【一般基金】

❖ 本学の卒業生をお迎えして「第6回秋田大学ホームカミングデー」を開催し、飲食代の支援を行いました。新型コロナウイルスの影響により4年ぶりの開催となりましたが、参加者は130名を超え、会場は大変な盛況となりました。



### 研究者への論文投稿支援【研究等支援事業寄附金】

❖ 不安定な雇用形態にある研究者に対して論文の掲載料を支援しました。これにより論文がオープンアクセスとなり広く研究成果が公開されました。

秋田大学みらい創造基金の  
お申し込み・お問い合わせ先

#### 秋田大学みらい創造基金事務室

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

☎018-889-3266

秋田大学みらい創造基金は、  
秋田大学ホームページからお申し込みいただけます。  
[https://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed\\_fund/index.html](https://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed_fund/index.html)

秋田大学みらい創造基金  
トップページ





# 寄附者の皆様へのメッセージ

## 秋田大学新入生育英奨学資金 受給学生より

### 教育文化学部

この度は秋田大学新入生育英奨学資金受給学生にお選びいただき誠にありがとうございます。今回、受給する資金は交通費として活用させていただきます。電車通学で定期券の購入が必要となるためその費用として考えております。

私は今、教員を目指して日々の授業や活動に取り組んでいます。今しかできないことやサークル活動にも注力しますが、勉学を第一優先としていきたいです。それによって自分の将来の目標である教員への道をより強固なものとしていきたいです。どの授業に対しても積極的に取り組み、大学生活を実りあるものとして、大学生の間だけではなくこれから先にもつながるような大切な経験としていきたいです。

### 医学部

この度は新入生育英奨学資金を給付していただき誠にありがとうございます。

いただいた資金は今後の実習費用の一部として大切に使用させていただきたいと思っています。資金を援助してくださった皆さんの暖かいお気持ちを忘れずに、立派な医療従事者として活躍していけるように日々の勉強に真摯に取り組んでいきたいと思っております。この度は本当にありがとうございました。

### 理工学部

この度は秋田大学新入生育英奨学資金をいただきありがとうございます。今回の奨学金は、生活費の一部として使用させていただくつもりです。私は母子家庭のため、アルバイトで生活費を稼ぎ、あまり負担をかけないようにと考えています。今回いただいた奨学金を活用して、勉強にかける時間を増やし、多くの知識を身に付けていきたいと思っております。

### 教育文化学部

奨学資金をいただき、深く感謝しております。今回いただいた奨学資金は私にとって大きな支えとなり、学業研究に励むための費用として使わせていただきます。地域の実地研究や参考書の購入など、自分の知識を一層深めるために使用する予定です。今後も学業に邁進し、社会に貢献することを目指していきます。いつか自分自身が同じように後進を支援できるように、心がけていきます。

最後に、改めまして、この度は貴重なご支援をいただき、ありがとうございました。これからも学業に勤しんでまいりますので、応援いただけますと幸いです。

### 理工学部

この度は育英奨学資金をいただきありがとうございました。初めての一人暮らしで物価高騰の中、電気代やガス代などが思った以上に高く悪戦苦闘しておりました。生活資金として活用させていただき、安心して勉学に励みます。

### 医学部

奨学資金を給付いただき、誠にありがとうございます。今回頂いた奨学資金は教科書や参考書代などとして学業のために使わせていただきます。

今後も学業に対して真摯に取り組む、日々の授業のみならず積極的な自主学習を行っていきます。

ほかにも受給学生からのメッセージを  
本学ホームページに掲載しております

[https://www.akita-u.ac.jp/honbu/  
ed\\_fund/ed\\_smassage.html](https://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed_fund/ed_smassage.html)

秋田大学みらい創造基金  
学生からのメッセージ



# 寄附者の皆様へのメッセージ

## 学業奨励金表彰 被表彰学生より

### 医学部 | 保健学科

#### 看護学専攻 4年 岩本 はるな

この度は表彰をしていただき、誠にありがとうございます。また、秋田大学みらい創造基金関係者の皆様、寄附をしてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

秋田大学に入学してから現在まで、今できることに向かって一生懸命に取り組むことで、将来誰かの役に立つことができるかもしれないと思い、学業に励んでまいりました。今回、このような形で認められ、とても嬉しく思います。

現在、私がこうしていただけることは、家族や友人、先生方の支えがあるからです。心から感謝いたします。現在まで、周りの方々の助けをいただきながら1歩1歩進んできたことができました。

### 国際資源学部

#### 資源地球科学コース 3年 小貫 央介

この度は、学業奨励金という素晴らしい支援をいただき、心より感謝申し上げます。皆様のご厚意とご支援のおかげで、私は学業に専念し、夢に向かって全力で取り組むことができています。

私はコロナ禍の真っ只中にこの秋田大学に入学し、当時はこれから始まる学生生活に対して不安でいっぱいでした。しかし、熱心に指導してくださる先生方、共に切磋琢磨できる友人たち、そして私のことを陰で支えてくれる家族のおかげで勉学に励むことができ、その結果、このような表彰をいただけたことを非常に嬉しく思っております。

私たち国際資源学部地球コースの3年生には、これから進級論文や海外資源フィールドワークといったこれまでの成果を発揮する場面が多くあります。今回このような表彰をいただけたことを誇りに思うと同時に責任を持ち、一層努力し、勉学に励む所存です。未来に向けて、自分自身を追求し続け、社会に貢献できる人材になることを目指します。

改めて、心から感謝申し上げます。

丁酉会は、秋田大学病院の患者、職員及び学生への便宜供与に関する事業を行うとともに、医学研究の奨励助成を行い、患者等の利便と医学振興に寄与します。

病院での生活を、もっと便利に、快適に 一般財団法人 丁酉会

てい ゆう かい

**保険調剤 丁酉会薬局**

秋田大学病院前

**秋田県厚生農業協同組合連合会**

かづの厚生病院 (鹿角市)	北秋田市民病院 (北秋田市)
能代厚生医療センター (能代市)	湖東厚生病院 (八郎潟町)
秋田厚生医療センター (秋田市)	由利組合総合病院 (由利本荘市)
大曲厚生医療センター (大曲市)	平鹿総合病院 (横手市)
雄勝中央病院 (湯沢市)	

JA秋田厚生連 検索

**秋田大学生協**は秋大生を応援します

大学生の学生生活を日常的にサポートするのが秋田大学生協です！

文具 教科書 情報機器 食事 住まい 共済

何かお困りごとがありましたら一度ご相談ください

ホームページはこちら▶▶▶ 各店舗の営業時間もこちらからチェック！

秋田大学生協同組合 お問い合わせはホームページから

秋田の海を 秋田の風を 未来へ繋ぐ

秋田港 能代港

**秋田洋上風力発電株式会社** Akita Offshore Wind Corporation

〒016-0813 秋田県能代市能代町字日和山下18番地32



## 理工学部 | 数理・電気電子情報学科

### 人間情報工学コース 3年 佐野 広空

この度は学業奨励金表彰を賜り、心より感謝申し上げます。秋田大学みらい創造基金関係者の皆様、及びご寄附くださった皆様に深く御礼申し上げます。私はこれまで、目標に対してできなかったことに意識を傾けて反省したり、自分なりにやったことを否定してしまったりすることが多くありました。しかし、このような表彰の機会をいただいたことで、努めてきたことの軌跡を肯定的に捉え直し、できたことに目を向けるきっかけとなりました。

大学生活では学業を第一に、創作や卓球にも取り組み、それぞれの分野で多くを学びました。学業ではプログラミングや情報技術、それらの実際の応用方法について学びました。また、創作では表現力を磨き、卓球では効率的な身体の使い方を研究してきました。これらの活動は、多くの方々の支えや励ましがあったからこそ、継続することができました。この場を借りて、その深い感謝の気持ちをお伝えいたします。いずれもまだ発展途上ではありますが、これからも継続してそれぞれの専門性を少しずつ高め、新しい価値を創出できる人になりたいと考えています。

## 教育文化学部 | 地域文化学科

### 心理実践コース 4年 野呂田 萌子

この度は、秋田大学学業奨励金の表彰を賜り、大変嬉しく思います。そして、秋田大学みらい創造基金へご支援くださった皆様に心より御礼申し上げます。

私は現在、心理実践コースで卒業研究に取り組んでいます。将来は心理職に就き、心理の専門家として地域に貢献したいと考えています。そのため、卒業後は大学院に進学し、研究や実習を通してより専門的な知識や経験を身に付けていきたいと考えています。

これからも、支えてくれる周囲の方々への感謝を忘れず、より一層努力していきたいと思っています。

ほかにも受給学生からのメッセージを本学ホームページに掲載しております

[https://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed\\_fund/ed\\_smassage.html](https://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed_fund/ed_smassage.html)

秋田大学みらい創造基金  
学生からのメッセージ



未知に挑む。

 LOGISTEED

物流は新領域へ。  
その想いを社会の力に  
変えるために。

ロジスティード株式会社

### 株式会社ディライト

株式会社ディライトは、秋田大学・附属中学校・附属小学校・附属幼稚園の生徒を応援します。

先生、事務員の皆様、毎日ありがとうございます！

株式会社 松 田  
地域の発展とともに 株式会社 湯沢生コン  
松田グループ 株式会社 丸栄建設  
●●●●● 株式会社 出羽運輸  
株式会社 エイコウ物産  
【本社】湯沢市字鶴館 39-4 TEL 0183-73-0188  
URL <http://www.matsuda-group.jp/>

### 読者アンケートのお願い

Aprire

秋田大学広報誌(アプリーレ)は、受験生や高校生、地域の方に向け情報発信の一環として、発行しています。皆さまのご意見をいただき、より役立つ誌面づくりを目指します。ぜひアンケート(所要時間:3分程度)にご協力いただけますよう、お願いいたします。



# 秋田大学みらい創造基金

「秋田大学みらい創造基金」は、全学的な事業を支援する「一般基金」と、用途を特定した「特定基金」で構成され、現在、企業・団体や個人の皆様など多くの方々にご支援をいただいております。この基金は、教育・研究による社会への貢献という本学の使命を果たすための大きな支えとなっており、今後一層の拡充を図りながら、有効に活用させていただきます。

## みらい創造基金による事業紹介

### 学生に対する「食」の支援(一般基金)

学生に対する「食」の支援のため、本学大学会館の食堂において、463円相当の定食を100円で提供する事業を行いました。

この事業は令和4年度後期から毎週実施しており、今年度前期も引き続き実施しました。今年度4月より手形キャンパスにおいては1日あたり150食、本道キャンパスでは1日あたり50食を提供しました。



100円定食

### 附属病院の環境整備(病院寄附金)

現在外来棟各所には、患者様及び付添者待合用のロビーチェアを設置していますが、経年劣化しているものもあるため、今年度は小児科外来用に親子用ペアチェア13脚、その他外来用にロビーチェア38台を購入しました。

これを更新することにより、施設・環境設備の充実を図っています。



外来用ロビーチェア

### ご寄附のお願い

- ◆個人の方  
一口……1,000円
- ◆法人の方  
一口……10,000円

- 〈ご寄附の方法〉
- 振込によるご寄附
  - クレジットカードによるご寄附
  - 古本募金によるご寄附
  - 遺贈によるご寄附

※詳細につきましては、秋田大学ホームページをご覧ください。基金事務室までお問い合わせください。

### 古本募金のお願い

読み終わった書籍(CD・DVD等を含む)を本学の提携業者(ちゃりぼん)が買い取り、その売却代金をご寄附いただく「古本募金」をぜひご利用ください。5冊以上から送料無料でご指定の場所に集荷に伺います。ご希望の方は、ちゃりぼんホームページからお申し込みください。なお、一度に集荷できる古本は3箱までとさせていただきます。

※令和2年9月よりお電話での集荷申込み受付は行っておりません。ご了承ください。



### 寄附者ご芳名

この基金の趣旨にご賛同、ご協力いただきました皆様へ、心より感謝申し上げます。今後とも秋田大学の教育・研究活動等に対し、格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

企業・団体等					
アプライド株式会社 様		エイブリック株式会社 様		瑞浪鉱物展示館 様	
個人					
浅田 昌弘 様	上田 晴彦 様	齋藤 稔 様	関 信輔 様	田口 秀子 様	船山 麻理 様
池上 俊哉 様	木口 哲也 様	坂本 和太 様	高野 華澄 様	竹岡 知子 様	森川 朋弥 様
石山 公一 様	岸野 留美子 様	三戸 学 様	高橋 邦泰 様	戸高 三雄 様	
市川 逸郎 様	桑島 精一 様	新屋敷 元 様	高橋 智彦 様	西山 広明 様	

その他匿名希望 6名様・法人様(令和6年8月～9月末入金分 五十音順)

お申し込み  
お問い合わせ先

秋田大学みらい創造基金事務室 〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 ☎018-889-3266  
秋田大学みらい創造基金は、秋田大学ホームページからお申し込みいただけます。  
[https://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed\\_fund/index.html](https://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed_fund/index.html)

